

だんだん暖かくなり春らしくなってきた函館。皆さんはどうお過ごしでしょうか。4月8日、潮寿荘では花祭りを行いました。花祭りではお釈迦様の像に甘茶をかけてお参りをしました。お恥ずかしい話なのです



お釈迦様に甘茶をかけるハネ子さん

花まつり



潮寿荘

だより

浅野ミサヲ

平成28年5月16日発行
発行：特別養護老人ホーム 潮寿荘
記事：5月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：浅野ミサヲ(85歳)

「花祭り」という言葉は聞いたことがありませんが、なんで花祭りというのか解らないので調べてみました。お釈迦様が生まれた4月8日、お釈迦様の誕生をお祝いするようにお花がたくさん咲いていたことから花祭りと呼ばれるようになったみたいです。お参りはしたい人だけですが、その後はみんなで焼きたての「おやき」(大判焼き)を食べました。最近食欲が落ちてきた栄子さんも、1つのもものが2つ、2つのもものが3つと食べていました。また、小さい頃に花祭りをお寺でやった事のある方は懐かしいとおっしゃっていました。まだ解らないことが多いので世間のことについても沢山勉強して、早く一人前になれるように頑張ります。(休日は姉の家へ遊びに、一番怖いのもお姉ちゃんな介護士・高島)

おやきTIME



大きな口でハツエせん



おやき製造中 吉田栄養士 松野庶務主任



おやきと一緒に甘酒も進む明子さん



潮寿荘のおやきを初めて食べる妙子さん

花まつり番外編
4月に入り、老人下宿から潮寿荘に入所してきたみちこさんは、収まりきらない自分の荷物や家具を処分しなくてはならず、「話しつけるから施設長を呼んできて」とお怒りだったのですが、花祭りが始まり『施設長の法話』(感謝について)を聞くと「私はなんてわがままな事を言っていたのだろう。反省しなくては」と涙ながらに僕におっしゃり荷物の件も解決。今は「ここはご飯が美味し



お釈迦様にお祈りするみち子さん

いねえ」と笑顔で暮らされています。(社会福祉士に合格しほっとしている相談員・北川)

インディレキヨさん

今回は私とキヨさんのエピソードを紹介したいと思います。

キヨさんは2月4日に潮寿荘に入られた笑顔のステキなおばあちゃんです。私が出動してくるとホールの端で見えにくいにも関わらず必ず手招きをしてくれ、近くに行くと「おはよう」と挨拶した後ほっぺにチュールをしてくれます。以前私が「仕事が終わったので帰ります」と声をかけると満面の笑顔で「やあ、嘘こいで」とひと言。また別の日、勉強会のため出勤してきた私を見て、いつもの笑顔で「やあ、まだ何しにきたのさ」とひと言。チュールしてくれ

今シズン最後の鍋会食

毎年10月から4月までの隔週月曜日のお昼ご飯は鍋会食です。毎回いろんなお鍋をメニューに取り入れて来ましたが、4月25日よいよ今シーズン最後の鍋会食となりました。

最後を飾るのは、鮭、肉団子、すり身団子、豚肉に定番の野菜が入った具だくさんの「味噌ちゃんこ」です。普段から鍋会食はおかわり自由で、食欲旺盛の方にはもってこいのメニューです。この日早番だった私は途中から見たのですが、それでも慶子さんは4杯おかわり。それに負けじ

るのに、少しキツめの言葉も言われ、好かれているのか、いないのか分かりませんが、大好きなキヨさんだから、何を言われても気になりません。これから外での行事が増えますので、いっぱい参加していただき今よりもっと仲良くなっていきたいと思いま

本当は仲の良いキヨさんと平館介護士



（珍しく彼氏と長く続いていて最近毎日飲み歩いている介護士・平館）

6月の予定

- 6日 野外食 (手で食べられるもの)
- 8日 誕生会 特別喫茶 (おしろこ)
- 20日 野外食 (流しそめん)
- 21日 小旅行

とお隣のSさん。3杯目のおかわりをしている最中に「美味しいですか」と聞くと「美味しい！」と返事した瞬間、Sさんの鼻からゴボウが飛び出してきて、みんなで大笑い！お腹いっぱいになって良かったですね。さて、来月からは外で食べる「野外食」が始まります。青空の下で食べるのも楽しみです。早くもつと

ひので作業療法士(OT) ホーム 森谷氏来荘

昨年12月、自分はひのでホームに研修に行かせてもらいました。その時OTの森谷氏から介護における腰などへの負担軽減、介護機器を有効に使う事、良い姿勢で座る事の大切さなど、いろいろと教えてもらいました。戻ってきて潮寿荘でもそれを浸透させようと介護士に伝えてきたのですが、自分は「訛りすぎ十国語がダメ」なため、なかなか伝わらないままリフトなどの介護機器が導入され、それらを使いこなすため悪戦苦闘する日々が始まりました。そんな日々の4月12日、14日、潮寿荘のリフト導入の様子を見に森谷氏が自分の休みを使い、函館まで来てくれました。施設長はこれをチャンスと森谷氏に勉強会や実地指導を依頼、森谷氏は快く承諾し指導してくれました。すると介護士達に変化が。自分が一生懸命伝えても解ってもらえなかった事が森谷氏の一言二言で理解されるなんて、比べるのはおかしいのですが悔しくなりました。施設長ではないが、これを利用しない手はないと、森谷氏にあれもこれも教

えてやっていると、3日間「こき使う」と言っても過言ではないほど介護士達を指導してもらいました。最終日、快く付き合ってくれた森谷氏に自分なりの感謝の気持ちを伝えたく、自分が漁に使っている小型漁船で戸井の海をクルージング。森谷氏大喜び。たまたま知人のウニ漁船がいたのでウニ漁を見せてあげようと近づくと「松野、持ってけ」とウニを自分の漁船に放り投げてくれました。それを割って食べる森谷氏大興奮。森谷氏に恩返しできたかな？と少し満足していたのだが、それを台無しにする出来事が。。。森谷氏が帰った翌日、なぜか施設長がしよげているので理由を聞くと、飛行機の時間を間違え（施設長が）森谷氏乗り遅れ、空港で3時間。結局最終便で帰ったのだと。自分のおもてなしは不発に終わった事を知りました。悲しい結果に終わった北海道かもしれませんが、また来て下さい。（事務所を出てリネン庫の奥に自分の部屋？を作った庶務主任・松野）



親睦会にて潮寿荘職員と